

施設名	船橋市アンデルセン公園
指定管理者	公益財団法人 船橋市公園協会
所管課	都市整備部 公園緑地課
評価対象期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日
所管課評価責任者	都市整備部長 伊藤 敬一

総合評価	S
------	---

単年度評価	業務状況(支障なし)			普通以下(改善・見直しの必要有り)	
	優れている	普通	指導事項有り (一部)	指導事項有り	不履行有り
				(多数)	業務の見直し要す
ランク評価(S、A～D)	S	A	B	C	D

単年度総合評価	適合			非適合	
ランク評価(S、A～D)	S	A	B	C	D

船橋市アンデルセン公園 指定管理者 モニタリングシート (H26年度)(単年度)

評価大項目 評価中項目 評価細項目(視点)	記述欄	所管課 評価	指定管 理者評 価
I 公園の基本運営について	記述欄		
1 利用者を増やし船橋の良さを内外の人にPRするための拠点施設としての活用について <ul style="list-style-type: none"> ・ 各ゾーンや施設の特徴等を生かした事業を展開した。 ・ 利用者の増加につながる事業を展開した。 ・ 船橋の拠点施設としての事業を展開した。 ・ アンデルセン公園の設置趣旨に沿った事業を展開した。など 	・各ゾーンにおいて、施設の特徴を生かし、それぞれ違った楽しみ方を提供し、本市を代表する施設の指定管理者としての自覚を持って事業展開し、年間を通して四季折々の花々で彩られた公園づくりのため、「さくらまつり」「ひまわりまつり」「コスモスまつり」「チューリップまつり」を開催した。 ・市民パスポートの発行、パスポート購入者への特典を付加、駐車場の冬期割引、コンビニエンスストアによる割引前売り券の販売、メルマガ配信登録強化キャンペーンとして花の苗等のプレゼントを行うなど、常に話題性のある事業を展開し、利用者の増加につながる事業を展開していた。 ・船橋セレクションに認定された商品を販売するなど、船橋の拠点施設として事業を展開していた。 ・デンマークより直輸入したグッズを販売したり、デンマークコインを使ったキーホルダーをクリスマス夜間解放時のイベントの景品として配布するなどアンデルセン公園の設置趣旨に沿った事業を展開していた。 ・テレビや新聞等に取り上げられるよう企画し、マスコミに情報提供したり、各マスコミの取材を積極的に受けPRしていた。	S	S
2 緑化事業(花とみどりのまちづくり)、国際交流等、市の施策と連携した事業展開について <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民や市などとの連携を図った事業を展開した。 ・ 緑化の推進を図る事業を展開した。 ・ 国際交流など市の施策と連携した事業を展開した。 ・ アンデルセン公園の特徴を活かした事業を展開した。など 	・市民祭り、天沼公園でのジャンボ市など市が主催する催事に積極的に参加し、近隣福祉施設への子ども美術館の出張アトリエ講座の実施など、市と連携を図った事業を展開していた。 ・緑化の推進イベントとして、花と緑の教室、花・緑ウォッチング、市の花であるヒマワリを20,000株植え「ヒマワリまつり」を開催し、もう一つの市の花であるカザグルマをボランティアとの協働により植栽、管理していたほか、カザグルマの挿し木講習会を実施した。また、ハンギングバスケットコンテストを行う等緑化の推進を積極的に事業展開し、入園者に花への関心をより持ってもらえるよう企画し実施していた。 ・デンマーク オーデンセ市姉妹都市提携25周年記念事業”花と緑のフェア”を昨年度末から4月20日まで市と共催により開催し、国際交流イベントとして4月6日には、常陸宮同妃両殿下をお迎えして姉妹都市提携25周年記念式典を行った。 ・デンマーク コリング市音楽学校の演奏会の実施、きりがみコンクール表彰式へのオーデンセ市職員等を招待、きりがみコンクールの入賞者とオーデンセ市へ訪問する等、国際交流を展開していた。	S	S
II 運営等の経費について			
1 経費の節減について <ul style="list-style-type: none"> ・ 運営方法の工夫により、経費の節減を図った。 ・ 維持管理方法の工夫により、経費の節減を図った。 ・ 計画的な雇用により、経費の節減を図った。 ・ 総括的な観点での経費の削減を図った。など 	・コスト削減委員会により現場巡視を行い、経費の削減について検討を行い、事務管理経費や運営経費の見直しを行うなど、経費の節減を図っていた。 ・生きがい福祉事業団への委託による人件費削減、複数年契約による委託費支出の削減、剪定伐採廃材の再利用、企業との連携による花壇設置、公園内の花壇管理をボランティアで行うなど、経費の節減を図っていた。 ・雇用者を登録制にし、計画的な雇用を行ったり、近隣より臨時職員を雇用するなど経費の削減を図っていた。 ・遊具などの軽微な修繕は、職員で行い経費の節減を	S	S
2 経費の構成・配分等について <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者へのサービス向上のための経費を配分した。 ・ 利用者の安全確保のための経費を配分した。 ・ 従事者の雇用に配慮した経費を配分した。 ・ 総括的な観点での経費の構成であった。など 	・車いすの無料貸出、ゴールデンウィーク期間の仮設トイレ設置、AEDの設置などの利用者へのサービス向上、フィールドアスレチックなどの施設点検を年2回実施、毎月放射線量測定を専門業者に委託し、情報提供するなど、利用者への安心安全な施設提供を考慮し経費を配分していた。 ・従事者が安心して働ける環境などを考慮した経費であった。 ・団体利用客へのPR、イベントの開催のPRなど、利用者の増加につながるよう経費を配分していた。 ・臨時の雇用者などに対しても十分な経費を確保していた。	S	S

船橋市アンデルセン公園 指定管理者 モニタリングシート (H26年度)(単年度)

評価大項目 評価中項目 評価細項目(視点)	所管課 評価	指定管 理者評 価	
Ⅲ 維持管理について			
<p>1 公園施設(建築物・動植物以外)の維持管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検・清掃は施設ごとに定め実施した。 ・ 点検や巡回等により、施設の供用の可否を判断した。 ・ 水を利用した施設の水質等の検査を必要に応じ実施した。など 	<p>・公園施設の清掃は、利用者が快適に利用出来るよう園内行き届いた清掃が行われていた。 ・アスレチック、遊戯施設の点検を毎日実施し、常に施設の状態を把握していた。 ・公園施設の点検は、施設点検班により木製遊具・遊戯施設の日常点検を日々実施し、アスレチックなどの遊具については、専門業者による点検を行い、修繕箇所があった場合は迅速に修繕や交換を行っていた。 ・木製遊具、木製施設等の使用期間を延ばすために、防腐塗装を実施していた。</p>	S	S
<p>2 建築物及び付属施設の維持管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検・清掃は施設ごとに定め実施した。 ・ 点検や巡回等により、施設の供用の可否を判断した。 ・ 床、窓、照明器具等、適正な頻度で清掃を実施した。など 	<p>・公園施設同様、利用者が快適に利用出来るよう建築物(コミュニティーセンター、童話館、子ども美術館等)のこまめな清掃を行っていた。また、床窓などの清掃も定期的に行っていた。 ・屋外トイレについても利用者が快適に利用出来るよう毎日巡回し清掃していた。 ・利用者が頻繁に利用する施設については、不具合がないか、毎朝実施していた。 ・老朽化した設備の交換や利用者が快適に利用できるよう管理し、状況により交換も行っていた。</p>	S	S
<p>3 植物(地被類・花壇含む)の維持管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 除草は、除草剤を使用せず人力で実施した。 ・ 害虫の発生は、定期的に監視し、剪定防除に努めた。 ・ 害虫駆除で薬剤使用の際、利用者に支障が無いよう実施した。 ・ 施肥、剪定や立入り禁止など植物の状況に応じ育成に努めた。など 	<p>・利用者の安全面から除草剤は一切使用せず、除草を人力で行っていた。 ・害虫を早期発見するため樹木医、樹木医補が巡回を定期的に行っていた。 ・園内にある、絶滅危惧種(キンラン、ギンラン等)の保護に努めたり、市の花であるカザグルマの増殖に努めていた。 ・園内花壇を景観に合わせデザインし、草花を植栽管理していた。 ・植物の状態を把握し、適切な管理を行っていた。</p>	S	S
<p>4 動物の育成管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動物ごとに定期的に検診等を実施した。 ・ 緊急時も含め検診等できる体制を整え、動物の育成に努めた。 ・ 保護等必要な動物には、利用者立入りの制限策を実施した。など 	<p>・動物に触れることは、幼児や児童にとって情操教育に役立つものであるが、反面、動物自身のストレスによる体調不良が心配される。動物の生活環境などを十分に観察し、育成管理していた。 ・獣医とも連携し、定期的に検診を行い適正な育成に努めた。また、緊急時の往診に対応可能な体制を整えた。 ・法定伝染病の検査、予防接種など適切に行っていた。また、出入りに消毒槽を設け病原菌をポニー広場内に侵入させないよう努めた。 ・動物の体調に異変の兆候が無いかなどを確認しながら、管理を行っていた。 ・スタッフへのポニー調教方法の指導を専門家により実施していた。 ・ヒツジ2当が出産、初期段階ではふれあいを制限した公開を適切に行った。</p>	S	S
<p>5 備品の維持管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 備品ごとに使用頻度や年数を考慮した点検を実施した。 ・ 点検等により、備品の使用の可否を判断した。 ・ 備品台帳を作成し、適正な管理に努めた。など 	<p>・利用者が使用する備品もあることから、使用前後の手入れや点検など適正に行っていた。 ・管理作業などに使用する備品についても、丁寧に取扱っていた。 ・事故につながるボートや工具などは、使用前、使用后に点検を実施した。</p>	A	A

船橋市アンデルセン公園 指定管理者 モニタリングシート (H26年度)(単年度)

評価大項目 評価中項目 評価細項目(視点)	所管課 評価	指定管 理者評 価
<p>6 共通事項(1~5について)</p> <ul style="list-style-type: none"> 不良施設等は、使用を中止し、安全対策を行い、市に報告した。 施設等の撤去・移設・新設については、事前に市の承認を得た。など 	S	S
<p>7 用地の維持管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> 用地の保存(境界、汚損防止)に努めた。 土地の形状変更は、事前に市の承認を得た。など 	A	A
<p>8 廃棄物処理について</p> <ul style="list-style-type: none"> 清掃等で発生した廃棄物は、適正に処理した。 資源廃棄物のリサイクルを図った。など 	A	A
<p>IV 施設運営について</p>		
<p>1 利用者の平等な利用の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者からの苦情等はなかった。 特定の団体等を優遇するなどの差別は行わなかった。など 	A	A
<p>2 利用者へのサービス向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施したサービスについて、利用者から良い反響があった。 アンケート等を実施し、サービス向上に活用した。 アンケート等で苦情件数が減った。(満足度が上昇した。)など 	S	S
<p>3 利用者等の安全確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故防止のための対応策に沿って実施した。 管理上の不備による怪我等の事故は発生しなかった。 上記以外の事故(利用者の不注意など)の事故件数が減少した。など 	S	S
<p>4 利用の促進について</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の増加につながる事業を実施した。 イベント等の事業について、利用の促進につながった。 事業による効果(計画集客数など)が達成できた。など 	S	S

船橋市アンデルセン公園 指定管理者 モニタリングシート (H26年度)(単年度)

評価大項目 評価中項目 評価細項目(視点)	所管課 評価	指定管 理者評 価
<p>5 地域との共生や地域への還元について</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域雇用に配慮した雇用を行った。 駐車場誘導を工夫し、渋滞による周辺地域への影響を減少させた。 周辺地域に対し、具体的な還元策を実施した。など 	S	S
<p>6 個人情報の保護について</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人情報の管理(漏えい防止、図書等の管理)を徹底した。 個人情報に関し、苦情や事故は発生しなかった。など 	A	A
<p>7 防犯・防災対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の安全確保のため、巡回等を適宜実施した。 施設等の損傷防止のため、防犯対策を実施した。 台風・雷雨等の気象・防災情報を利用者に提供した。 台風等による災害の際、事前事後の対応を適切に実施した。など 	S	S
<p>V 事務管理について</p>		
<p>1 業務を行うにあたっての従事者(有資格者含む)の配置について</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理運営に適した従事者を配置した。(点検、動植物、アトリエ等) 管理水準に必要な従事者を配置した。(サービス提供、事故防止等) 各施設や事業ごとに責任者を定め業務を実施した。など 	S	A
<p>2 繁忙時と通常時の従事者の雇用について</p> <ul style="list-style-type: none"> 繁忙期などの人員が確保できる体制(人員数、事務分担等)であった。 効率良く円滑的に運営できた体制(人員数、事務分担等)であった。 通年(繁忙期、閑散期など)を通し、計画的に雇用ができた。など 	S	S
<p>3 従事者の教育と研修について</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理運営に必要な資格取得の推進や研修を実施した。 接遇や企画力などの向上に向けた研修を実施した。 利用者の事故防止や発生時に対応できる研修を実施した。など 	A	A
<p>4 事故等の緊急時の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の怪我等の事故発生時の際、迅速な対応ができた。 事故防止や発生時の際、連絡体制を基に対応できた。 台風や異常気象、降雪の際、円滑かつ的確に対応できた。など 	S	S

船橋市アンデルセン公園 指定管理者 モニタリングシート (H26年度)(単年度)

評価大項目		所管課 評価	指定管 理者評 価	
評価中項目				
評価細項目(視点)				
5	従事者に対する労働条件等について	・臨時職員も含めた雇用体制を確立していること、雇用条件を提示し雇用していることなど、雇用者と従事者間の信頼関係は確保されている。	A	A
	・ 従事者の労働条件は適正であった。(臨時職員等全従事者)			
	・ 従事者への福利厚生などの労働環境は適正であった。			
	・ 雇用条件などの雇用体制を明確にして雇用了。など			
VI その他				
1	上記項目以外について	・公園の維持管理、事業計画書で企画していた事業などは計画どおり実施されていた。集客度も概ね想定どおりであった。 ・オーデンセ在住の観光コーディネーターを招く等、デンマーク商品販売について更なる事業協力等の連携を図った。 ・企業花壇の誘致など企業との連携に努めた。	S	S
	・ 維持管理、運営、事務管理など。			
	・ 事業年次計画の達成度(差異の有無やこれに伴う効果の良否など)			
	・ 指定管理者が主体となり企画や提案、実施した事業など。			